

国語

問題冊子

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 二 本冊子は十二ページであり、解答用紙は三枚である。落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつたら、
ただちに試験監督者に申し出ること。
- 三 受験番号は、三枚の解答用紙のそれぞれの指定箇所に必ず記入すること。
- 四 解答は、読みやすい正確な字で記入すること。
- 五 解答用紙は持ち帰らないこと。
- 六 問題冊子は持ち帰ること。
- 七 大問ごとに、満点に対する配点の比率（％）を表示してある。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、設問の都合で、原文の一部を省略・改変した箇所があります。(配点比率55%)

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

(今井むつみ『ことばと思考』(二〇一〇年)より)

(注)

問一 傍線部 a ~ j について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで記しなさい。

問二 傍線部 1 とありますが、 とは、ここではどのような意味合いで用いられていますか。説明しなさい。

問三 傍線部 2 について、ウォーフは、なぜ と考えたのですか。人間が世界を認識するための方法という観点から説明しなさい。

問四 傍線部 3 とありますが、ウォーフは、なぜホビ語と標準西洋言語が であると考えたのですか。説明しなさい。

問五 傍線部 4 「比喩」の一種に直喩があります。直喩を用いた文章を一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

問六 傍線部 5

述べられていますか。説明しなさい。

とありますが、その前と後とでは、研究動向がどのように変わったと

問七 傍線部 6

☐ とありますが、ウォーフが用いた ☐ とロッシュが用いた ☐ とは、どのように意味が異なりますか。説明しなさい。

問八 傍線部 7

結論を導いたのでしょうか。本文の言葉を用いて簡潔に説明しなさい。

とありますが、色の認識についてロッシュはどのような

問九 傍線部 8

しましたか。説明しなさい。

とありますが、ボール・ケイは実験を通じて何を明らかに

問十 筆者は、ウォーフ仮説をふまえて言語と思考の理解に対してどのような見解を導き出していますか。本文全体をもとにして説明しなさい。

二

次の文章は『古本説話集』の一節で、上東門院彰子が入内した際の、新調の屏風に書く色紙形の和歌をめぐる藤原公任の逸話が記されています。よく読んで後の問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部本文を改めた箇所があります。(配点比率30%)

今は昔、女院内裏へはじめて入らせおはしましけるに、御屏風どもをせさせ給ひて、歌読どもに詠ませさせ給ひけるに、四月、藤の花おもしろく咲きたりける枚を、四条大納言あたりて詠み給ひけるに、その日になりて、人々歌ども持てまゐりたりけるに、大納言遅くまゐりければ、御使して、遅きよしをたびたび仰せられつかはす。権大納言行成、御屏風たまはりて、書くべきよし申し給ひければ、いよいよ立ち居待たせ給ふほどに、まゐり給へれば、「歌読ども、はかばかしき歌どもも詠み出でぬに、さりと」と、誰も心にぐりけるに、御前にまゐり給ふや遅きと、殿の、「いかにぞ、あの歌は。遅し」と仰せられければ、「さらにはかばかしく仕らず。悪くて奉りたらんは、まゐらせぬには劣りたる事なり。歌詠むともがらの、すぐれたらん中に、はかばかしからぬ歌書かれたらむ、長き名に候ふべし」とやうに、いみじく逃れ申し給へど、殿、「あるべき事にもあらず。異人の歌なくとも有りなむ。御歌なくは、おほかた色紙形を書くまじき事なり」など、まめやかに責め申させ給へば、大納言、「いみじく候ふわざかな。此度は誰も詠みえぬ度に待るめり。中にも永任をこそ、さりとと思ひ給へつるに、「岸の柳」といふ事を詠みたれば、いと異様な事なりかし。これらだにかく詠みそこなへば、公任はえ詠み侍らぬもことわりなれば、許し賜ふべきなり」と、さまさまに逃れ申し給へど、殿あやにくに責めさせ給へば、大納言、いみじく思ひわづらひて、懷より陸奥紙に書いて奉り給へば、ひろげて前に置かせ給ふに、帥殿よりはじめて、そこらの上達部・殿上人、心にくく思ひければ、「さりと」と、この大納言故なくは詠み給はじ」と思ひつつ、いつしか帥殿読み上げ給へば、

紫の雲とぞ見ゆる藤の花いかなる宿のしるしなるらん

と読み上げ給ふを聞きてなむ、褒めののしりける。大納言も、殿をはじめ、みな人、いみじと思ふ気色を見給ひて、「今なむ、胸すこし落ちる侍りぬる」など申し給ひけり。

(注)

女院…上東門院。藤原道長の娘、彰子。一条天皇の許に入内したのは長保元年（九九九）のこと。

歌読…歌詠みに同じ。歌人。

枚…紙などの平らなものをいう。ここは屏風に設けられた、和歌を書き込むための色紙形の面。

四条大納言…藤原公任。詩歌・管弦に秀でた当代随一の文化人。

あたりて…担当して。

権大納言行成…能書家。小野道風・藤原佐理とともに三蹟と称される。

殿…藤原道長。

永任…本文に「公任」とあるのを、『今昔物語集』の同話が「永任」とするのに従って改めた。但し実際誰のことだったかは未詳。

陸奥紙…奥州産の楮を原料にした上質の紙。

帥殿…藤原伊周。道長の甥。

紫の雲…瑞雲で、皇后の異称でもある。なお、彰子は入内の後、程なく中宮（皇后と並立）になっている。

問一 傍線部ア～エの意味を記しなさい。

問二 傍線部１は、誰の、どのような様子を記したのか、わかりやすく説明しなさい。

問三 傍線部２を、わかりやすく現代語訳しなさい。

問四 傍線部３「褒めののしりける」とあるのは、「紫の」の歌のどのような点に、どう反応したのか、わかりやすく説明しなさい。

問五 傍線部４からは、誰の、どのような気持ちが読み取られるか、簡潔に記しなさい。

問六 二重傍線部「まじき」の品詞と文法的意味と文中での活用形を記しなさい。

問七 藤原公任が編纂した作品の中から選び、記号で答えなさい。

a 風姿花伝

b 金槐和歌集

c 和漢朗詠集

d 梁塵秘抄

e 古今著聞集

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、設問の都合で送り仮名や返り点を省略した箇所があります。（配点比率15％）

貞観初、太宗与黄門侍郎王珪宴語。時有美人侍側。本廬江王瑗之姫也。瑗敗、籍没入宮。太宗指示珪曰、「廬江不道、賊殺其夫、而納其室。暴虐之甚、何有不亡者乎。」珪避席对曰、「陛下以廬江取之、為是耶、為非邪。」太宗曰、「安有殺人而取其妻。卿乃問朕是非、何也。」对曰、「臣聞管子曰、『齊桓公之郭国、問其父老曰、『郭何故亡。』父老曰、『以其善善而惡惡也。』桓公曰、『若子之言、乃賢君也。何至於亡。』父老曰、『不然。郭君善善而不能用。惡惡而不能去。所以亡也。』今此婦人尚在左右。臣窃以聖心為之是。陛下若以為非、此所謂知惡而不去也。」太宗大悦、稱為至言。遽令美人還其親族。

(注)

貞観…唐の太宗が用いた年号。六二七年～六四九年。

太宗…唐の第二代皇帝。在位六二六年～六四九年。

黄門侍郎…役職名。

王珪…太宗に召し抱えられ、後に宰相となる人物。

宴語…くつろいで語る。

美人…女官の階級の名称。

廬江王瑗…唐の高祖の従兄の子。廬江王に封じられたが、反乱を起こして殺された。

姫…めかけ。側室。

籍没…官府に没収する。

室…妻。

齊桓公…春秋時代の覇者の一人。

郭国…春秋時代の国名。

聖心…天子の御心。

問一 二重傍線部 a～c の読みを、送り仮名も含めて、平仮名で記しなさい。仮名遣いは問いません。

問二 傍線部 1 「何有不亡者乎」を現代語訳しなさい。

問三 傍線部 2 「郭君善善而不能用。惡惡而不能去」を現代語訳しなさい。

問四 傍線部 3 「令美人還其親族」をすべて平仮名で書き下し文にしなさい。仮名遣いは問いません。

問五 波線部「為之是」について、次の問いに答えなさい。

- ① 「之」の内容を説明しなさい。
- ② 王珪は太宗のどのような言動を諫めたのか説明しなさい。